

1. 洞爺火砕流堆積物分布図 GIS データについて

本洞爺カルデラ洞爺火砕流堆積物分布図には、GIS データ(Shapefile)が用意されている(表1)。
GIS データには、各ユニットの凡例情報が、英語と日本語で埋め込まれている。ラインやポイントデータについては、層厚などのデータが属性表に示されている。GISソフト上で各ポリゴンの情報表示を行うことで、各火砕流堆積物の詳細情報を表示することができる。日本語の文字コードはUTF-8を使用している。座標系はJGD2000を与えている。拡張子ごとの各ファイルの内容を表2 に示した。

表1 GIS データのリスト

ファイル名	データの内容
alluvium_terrace_fan_talus	埋立地、干拓地、沖積層及び洞爺噴火以降の段丘堆積物、降下テフラ、扇状地堆積物及び崖錐堆積物
estimated_distribution_area_Toya_Ignimbrite	洞爺火砕流堆積物推定分布域(洞爺噴火より若い地層岩体・埋積地の下位に、洞爺火砕流堆積物が存在している、あるいは存在していた可能性がある地域)
thickness_Toya_Ignimbrite	洞爺火砕流堆積物の層厚(現地調査、文献(露頭)、文献(ボーリングコア)の3タイプに区分; 層厚; m)
isopach_map_Toya_Ash	洞爺火山灰の等層厚線 (cm)
limited_area_Toya_Ignimbrite	洞爺火砕流堆積物の小規模分布
older_units	洞爺噴火より古い火山岩、堆積岩及び基盤岩類
post_caldera_eruption_products	後カルデラ火山噴出物(有珠火山及び中島火山)
surface_level_Toya_Ignimbrite	洞爺火砕流堆積物の上面の等高線 (m)
thickness_points_Toya_Ash	洞爺火山灰の層厚地点 (cm)
Toya_Caldera_rim	カルデラ縁 (洞爺カルデラ)
Toya_Ignimbrite_MP_ML	洞爺火砕流堆積物中の軽石・石質岩片の最大粒径(軽石/ 岩片; mm)
Toya_Ignimbrite	洞爺火砕流堆積物
Usu_Crater	火口(有珠火山)
younger_volcanoes	恵庭火山、羊蹄火山、尻別火山、ニセコ火山群、倶多楽火山群、支笏火砕流堆積物、倶多楽火砕流堆積物及び喜茂別火砕流堆積物

表 2 拡張子とファイル内容

拡張子	説明
.shp	分布図の本体となるファイル
.shx	分布図に関するインデックス情報を格納するファイル
.prj	座標系情報を格納するファイル
.dbf	属性情報を格納するテーブルファイル
.cpg	文字コードの識別コードページ指定ファイル
.mapx	ArcGIS Pro 用のマップ表示設定ファイル
.lyrx	ArcGIS Pro 用のレイヤースタイルファイル
.qml	QGIS 用のスタイルファイル
.qgz	QGIS 用のマップ表示設定ファイル

動作確認環境：

下記の環境での動作確認済み。

ArcGIS Pro 3.3.0 (Windows 11 24H2), QGIS 3.40.6 (Windows 11 24H2, macOS 15.4.1)

2. 引用・免責事項

本 GIS データを出版物や Web サイト等で利用される場合は、適切な引用をお願いします。引用例やライセンス、免責事項は以下を参照してください。

引用例：

宝田晋治・中川光弘・宮坂瑞穂・後藤芳彦・金田泰明（2025）洞爺カルデラ洞爺火砕流堆積物分布図。大規模火砕流分布図，no. 5，産総研地質調査総合センター。

ライセンス：政府標準利用規約（第 2.0 版）(<https://www.gsj.jp/license>)が適用されます。

免責：産業技術総合研究所地質調査総合センターは、本データの利用によって生じたいかなる損害にも責任を負いかねます。あくまでも、利用者の自己責任においてご利用ください。

地形図、陰影起伏図、傾斜量図の表示には、国土地理院の地理院タイル（標準、陰影起伏図、傾斜量図）を利用しています(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)。